

政策6 快適な「暮らし」を造る (都市基盤整備・上下水道)

施策31 都市計画・土地利用

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○市街地中心部ににぎわいがあり、適切な土地利用が進むことで住みやすいまちになっています。

現状・課題

(1)適切な土地利用の推進

まちづくりのためには、周辺環境と調和した土地利用が不可欠です。用途地域の指定と開発指導等により、適切な土地利用を推進する必要があります。

(2)歴史、文化、緑を巡る、歩いて楽しい空間づくり

関市立地適正化計画に基づき、まちなかに人のにぎわいを作るため、観光拠点であるせきてらす、本町BASE及び関シテイターミナルを遊歩道でつなぎ、市街地中心部における周遊効果を高めることが期待されています。

(3)市街地外縁部におけるまちづくり

市街地外縁部では、都市計画マスタープランに基づき各地域の持つ豊かな自然環境や景観を守っていく必要がある一方で、近隣自治体への通勤通学などの利便性の高さから、新たな土地利用のニーズがあると考えられます。市街地外縁部においても暮らしやすいまちづくりを推進することが求められています。



ふれあい広場(パース)

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
都市計画・土地利用の満足度(アンケート結果)	81.2% (2022)	UP
居住誘導区域内への転入人口(住民基本台帳より)	518人 (2021)	595人
市街地中心部への来訪者数/月(人流解析ツールより)	151,104人 (2021)	196,000人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	調和のとれた土地利用により、利便性の高い都市を形成します。		用途地域の見直し 都市計画道路の見直し ◇ 都市計画道路の整備推進(都市幹線道路・補助幹線道路)
	市街地中心部の魅力と賑わいを創出します。	● ●	立地適正化計画の見直し ◇ 都市構造再編集支援事業の推進(歩いて楽しい空間づくり) ◇ まちなかの空き家、空き地の利活用促進 ◇ 本町BASE、古民家あいせき、空き地(本町周辺など)の活用と連携
	市街地外縁部の生活圏における暮らしやすいまちづくりを推進します。	●	◇ 市街地外縁部のまちづくりのあり方の検討(近隣都市をつなぐ道路整備や公共交通サービスの充実等)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



本町7丁目夏祭り

関連計画

- 関市立地適正化計画(2017~2035)
- 関市都市計画マスタープラン(2021~2030)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○安全で快適な住環境が確保されています。

現状・課題

(1)定住を促進する住環境

人口減少を抑制するためには、住んでみたい、住み続けたいと思われる良好な住環境の整備が重要です。整理された宅地を供給することで、住みよい住環境づくりを推進していく必要があります。

(2)空き家への対応

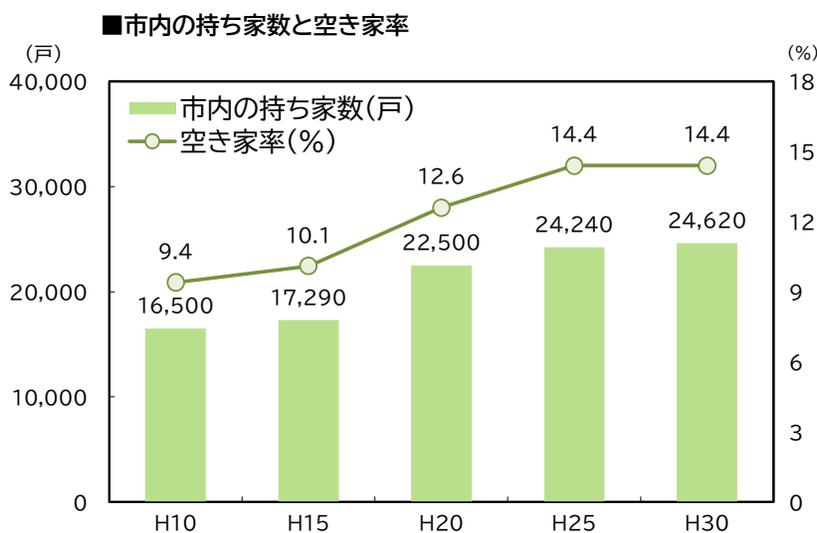
市街地中心部においても空き家が放置された状態が散見されるため、所有者に対する注意喚起を強化し、空き家の発生を抑制することが求められています。また、特定空家等に対し、助言・指導などの必要な措置を講ずることで、空き家問題を解消していく必要があります。

(3)住宅の耐震化の促進

地震に備えた住環境を整えるため、各種支援制度を周知し、住宅の耐震化をさらに促進していく必要があります。

(4)優良な住宅供給のための宅地開発

20歳～30歳代の若年層に住んでもらうためには、優良な住宅供給が必要です。



資料:住宅・土地統計調査

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
住環境の満足度(アンケート結果)	77.1% (2022)	UP
区画整理整備率(整備済面積/整備計画面積)	21% (2021)	100%
特定空家等の改善度(改善件数/指導件数)	63.3% (2021)	60.0%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	整理された快適な住宅用地を整備します。	●	◇ 区画整理事業(平賀第一、平賀第二、平賀天神社、中南部地区)
	空家等の発生予防や利活用を推進します。	●	○ 空き家利活用支援 特定空家等に対する助言・指導・行政代執行 特定空家等解体補助 地域コミュニティの場としての利活用推進 ◇ 専門家相談会の開催 NPO・民間・自治会との連携
	建物の耐震化支援を行います。		木造住宅無料耐震診断 建築物耐震診断補助 木造住宅耐震改修補助 ブロック塀等撤去補助 建築物アスベスト分析調査補助 耐震無料相談会、耐震診断ローラー作戦の実施
	優良な住宅供給のため、宅地開発指導を行います。		適正な宅地開発に向けた指導

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

関連計画

- 関市立地適正化計画(2017~2035)
- 関市耐震改修促進計画(2006~2025)
- 関市空家等対策計画(2023~2028)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 33 公共交通

めざす姿

○公共交通機関を利用することで、市内外へ快適に移動できています。

現状・課題

(1)新しい運転技術の研究・活用

市内の移動手段のひとつとして路線バスやコミュニティバスが利用されていますが、運転手の高齢化による運転手不足という課題があります。これを解消する手段として、自動運転バスの導入など新たな技術の活用についても研究を進めていく必要があります。

(2)長良川鉄道の経営方針の検討

長良川鉄道の利用者は減少傾向であり、収入が悪化しています。施設が老朽化し、施設の更新に多額の費用が必要となっており、経営改善が求められています。

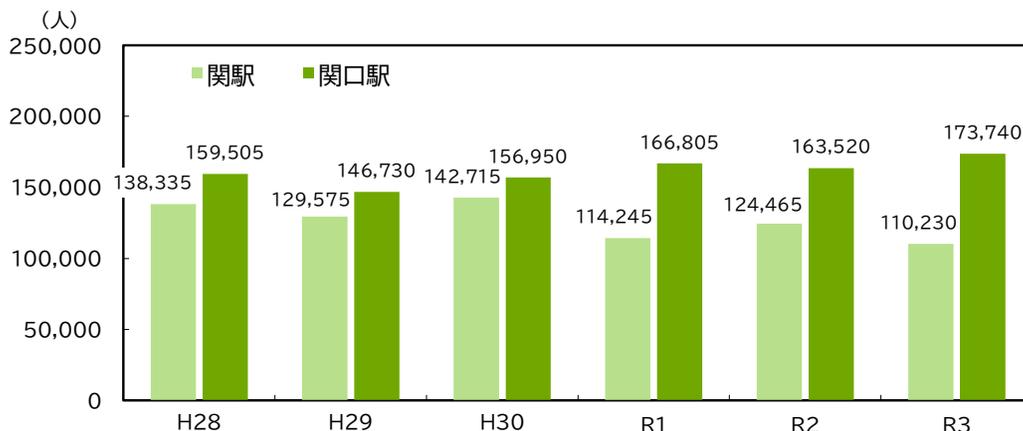
(3)通学者への支援

若者の市外転出を減らすためには、大学生の名古屋圏等での下宿を抑制し、自宅からの通学を促す取組が必要です。

(4)市民の生活を支える交通網の整備

デマンドバスやデマンドタクシーなどその地域に最適な運行方法を検討する必要があります。また、過疎地域への荷物の運搬において公共交通を使用する貨客混載事業の導入についても検討する必要があります。

■長良川鉄道各駅乗客数の推移



資料:長良川鉄道(株)(長良川鉄道乗降人員調査)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
公共交通の満足度(アンケート結果)	61.2% (2022)	UP
市街地における1日当たりのバス乗降人数(関シティバス、岐阜関線、倉知線乗降調査)	685人/日以上 (2021)	1,300人/日以上
通学定期券助成人数(高速名古屋線)	75人 (2021)	80人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	市内外を便利に移動できる公共交通を運行します。	●	<ul style="list-style-type: none"> バス路線の見直し 地域内バスの運行支援 市内巡回バスの運行・再編 デマンドバス、デマンドタクシーの運行 ○ 鵜沼駅までの新規バス路線運行の調査研究・実証運行 ○ 武芸川～山県バスターミナル間デマンドバス調査研究・実証運行 ◇ 自動運転バス導入の研究 ○ 電気自動車(バス)の導入 ◇ バス停環境整備、更新
	長良川鉄道の利用促進と安全運行を支援します。		<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した長良川鉄道施設の更新 ○ 経営方針の検討
	公共交通の通勤通学への利用を支援します。	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> 高速名古屋線通学助成 高校直行便バスの運行 バスと鉄道の共通定期券の導入 ◇ 学生のニーズ把握(アンケート調査の実施) ◇ 路線バスでの通学者への助成の検討
	人口減少や高齢化に対応した公共交通を運行します。		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域に最適な運行方法の検討 ○ 貨客混載事業の検討 運転免許返納者に対する支援

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

○関市地域公共交通計画(2022～2026)

めざす姿

○活発なコミュニケーションを生む公園が整備され、市民の憩いの場となっています。

現状・課題

(1)期待される公園の役割

公園は、コミュニティや交流イベントの場としての役割を担っており、市民の暮らしに憩いをもたらしています。子どもの遊び場としてだけでなく、人々のライフスタイルの多様化に合わせた公園利用が期待されています。

(2)官民連携の推進

近年、民間のノウハウを活用して魅力ある公園の整備・運営・管理を行うPFIに注目が集まっています。PFIの手法を用いて民間資金で公園を整備・運用することで、管理者の財政負担を軽減しつつ公園の質や利便性を向上させるなど、官民連携の活用を研究する必要があります。

(3)景観まちづくりの推進

住みよいまちを創るためには、良好な景観を維持することが大切です。また、デザインに配慮した案内看板の設置や都市景観を整備する必要があります。今後、本市の良好な景観を後世に引き継げるよう、景観計画に基づき市民、事業者と行政が協働で景観を守り育てていく必要があります。

■都市公園数と面積の推移



資料:都市計画課

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
景観・公園の満足度(アンケート結果)	83.7% (2022)	UP
市民一人当たりの都市公園面積(都市公園面積(百年公園含)÷人口)	20.4 m ² (2022)	20.8 m ²

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	安心して遊ぶことができる公園づくりに取り組みます。		公園維持管理事業 公園施設修繕 遊具点検
	市民のニーズに合った、利用しやすい公園を整備します。		○ 公園の有効な活用についての研究(PFI) ○ 公園トイレの洋式化 ○ 公園外灯のLED化
	市民、事業者、行政の協働による景観の保全を推進します。		景観計画区域における建築物や工作物への規制誘導 景観重点地区の指定と整備助成

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



下有知ふれあい公園

関連計画

○関市景観計画(2015～)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○適切な道路整備と維持補修により、安心して道路が利用でき、市内外を活発に人が行き交っています。

現状・課題

(1) 広域的交通網の整備

本市と周辺の都市間をつなぐ交通網として、東海環状自動車道や岐阜東バイパスの整備が進んでいます。これらの広域的交通網は、人や物の移動の利便性を高め市内の産業を発展させるため、早期の開通が期待されています。

(2) 計画的な維持補修

生活道路は市民生活の利便性に直結するものであるため、継続的な維持補修が不可欠です。また、子どもなどの交通弱者対策として、安全対策を講じる必要があります。

(3) 道路インフラの適切な点検

道路や橋りょう、トンネルなどのインフラを良好な状態で長期的に活用するため、将来を見据え、道路と道路施設の長寿命化を計画的に行う必要があります。

(4) 橋りょうの耐震機能強化

震災などの大規模な災害が起きた際には、橋りょうは重要な避難経路となります。定期的に点検や耐震改修を行うなど、常に市民が安全に利用できる橋りょうの整備が求められています。

(5) 南北交通の利便性向上

西本郷一ツ山線や東本郷鋳物師屋線が開通しましたが、さらに南北交通の利便性を高める道路の整備を検討する必要があります。



尾太中池線

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
道路・橋りょうの満足度(アンケート結果)	80.7% (2022)	UP
橋りょう耐震補強率(耐震補強完了数÷橋りょう数)	85% (2022)	86%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	都市間道路の整備促進を行います。	● ● ● ●	東海環状自動車道西回り 岐阜東バイパス(国道156号) 国道418号、248号 国道256号(洞戸尾倉地内)
	市道の整備と適正な維持管理を行います。		通学路の安全対策(推進) 拡幅改良及び交差点改良 舗装、補修、側溝敷設の推進 幹線道路における歩道補修の推進 防草対策の推進
	道路施設の適切な点検、補修を行います。		橋りょう点検・補修 補修-21橋 点検-881橋(5年に1回) トンネル点検・補修 補修-4箇所(しぐら坂・わかかさ・新錦・安桜山) 点検-8箇所(5年に1回)
	必要に応じた橋りょうの耐震化を進めます。		田富橋(関) 宝見橋(武芸川) 岩本橋(板取) 富之保橋(武儀) 新宮橋(板取) 戸泉橋(関)
	市内の南北交通の利便性を高めます。		倉知一ノ門線 東山西田原線 稲河交差点改良

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

○橋梁耐震補強計画(~2048)

めざす姿

○河川や急傾斜地崩壊防止施設の整備が進み、豪雨や震災時などにおいても安全な生活を保つことができます。

現状・課題

(1)一級河川の整備

本市を流れる長良川などの一級河川では、河川の氾濫が起こるとその被害は甚大となることが予測されるため、国や県と連携した河川整備を推進することが重要です。

(2)災害級の豪雨の頻発

近年、全国各地で災害級の豪雨が頻発しているため、引き続き、河川や調整池の浚渫工事が必要です。

(3)土砂災害への対策

本市では、土砂災害の発生により、市民の生命・財産に危害を及ぼすおそれのある区域として、「土砂災害特別警戒区域」に1,188か所、「土砂災害警戒区域」に1,245か所が指定されています。短時間での強雨や地震が起こっても、がけ崩れ、地すべり、土石流などの災害が起こらないよう、砂防施設や急傾斜地の崩壊対策が必要です。

(4)大規模盛土造成地対策

市内の大規模盛土造成地の詳細な調査を進めるとともに、危険と判断された場合には、適切な対応を行い、被害の軽減を図ることが必要です。



河川・調整池浚渫



急傾斜地崩壊対策工事

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
治山・治水の満足度(アンケート結果)	85.3% (2022)	UP
排水路整備(雄飛ヶ丘・倉知・上白金・西本郷・小瀬・一ノ門・武儀寺洞 総延長 1,239m)	1,208m (2021)	1,239m
浚渫整備(桐谷川・藤谷川・大谷川・小俣川他)	2,337m (2021)	3,463m

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	台風及び集中豪雨による一級河川の浸水被害を防ぎます。		長良川中流域の遊水地事業 長良川改修事業 津保川・武儀川・小那比川等の河川改修
	集中豪雨などの災害時の水害を防ぎます。		上白金排水路整備 ○ 虹ヶ丘排水路整備 西本郷冠水対策 桐谷川浚渫 ○ 藤谷川・大谷川浚渫 ○ ほたる川浚渫 ○ 梓の手川浚渫
	土砂災害警戒区域の安全を確保します。		急傾斜地崩壊対策事業 関「黒屋」 洞戸「神明前」 上之保「小樽」 砂防事業 洞戸「高見谷」 武芸川「八幡」 武儀「寺尾洞」 板取「島口川」「隠居谷」
	大規模盛土造成地の調査を行い、被害の軽減を図ります。		大規模盛土造成地の地盤調査等 調査結果に基づく崩落防止対策

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

なし

施策 37 上水道

めざす姿

○衛生的で安全な水が安定して供給されており、市民が安心して水道水を利用しています。

現状・課題

(1)水道施設の計画的更新

人口減少などにより水道事業の経営環境が厳しくなる中、良質な水を安定的、効率的に供給するため、経営健全化を図るための方法を模索していく必要があります。

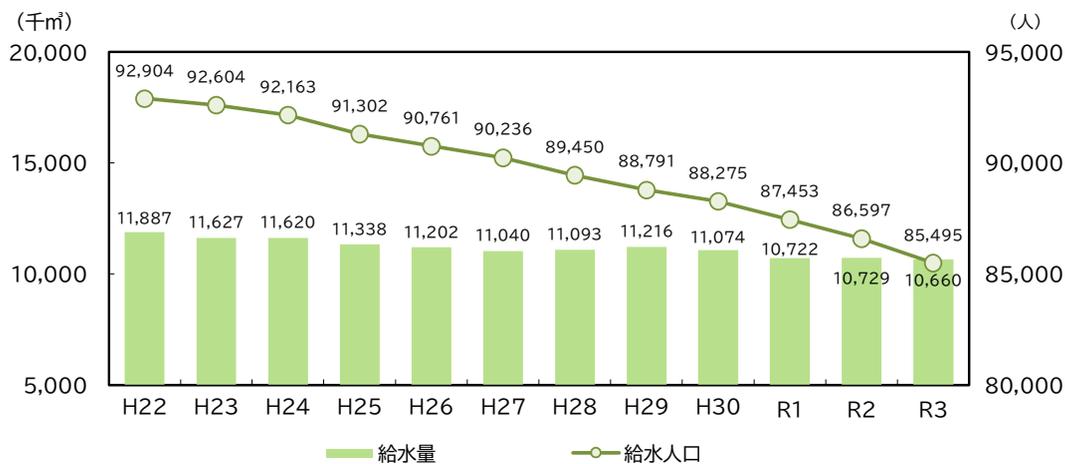
(2)水道施設の耐震補強

水道施設は重要なライフラインであり、震災時の給水機能の維持も水道施設の大切な役割です。現在の水道施設は老朽化が進んでいるため、震災時に給水を続けられるよう、耐震化工事を進める必要があります。

(3)水道事業経営戦略の見直し

人口減少や企業等の節水対策により使用水量は減少していますが、インフラの更新経費は増加しています。水道料金の見直しを含めて経営環境を改善する必要があります。

■給水量(有収水量)と給水人口の推移



資料:水道課

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
上水道の満足度(アンケート結果)	93.1% (2022)	UP
有収水量率(料金収入水量 ÷ 配水流量)	67% (2021)	80%
経常収支比率(経常収益 ÷ 経常費用)	112% (2021)	105%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	既存の水道施設を適正に管理し、安定した水道事業を運営します。		計画的な浄配水施設・管路の更新 ○ 増圧ポンプ場(塔ノ洞・新池)の統廃合検討
	震災時にも給水機能を維持できるように、水道施設の耐震化を進めます。		病院、避難所など重要保全施設を考慮した計画的な耐震強化 老朽管の耐震管への更新
	水道事業の安定的な経営持続のため、収入・支出の見直しを行います。		水道料金の見直し 事業効率化による支出の抑制 水道事業の広域連携の検討 水道事業経営戦略の内容見直し

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



深井戸(小瀬水源地)



表流水(三友浄水場取水口)

関連計画

- 関市アセットマネジメント計画(水道事業)(2019~2059)
- 関市水道事業経営戦略(2019~2029)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 38 下水道



めざす姿

○下水道管路・処理施設が整備され、衛生的なまちが保たれています。

現状・課題

(1) 効率化と経営の安定

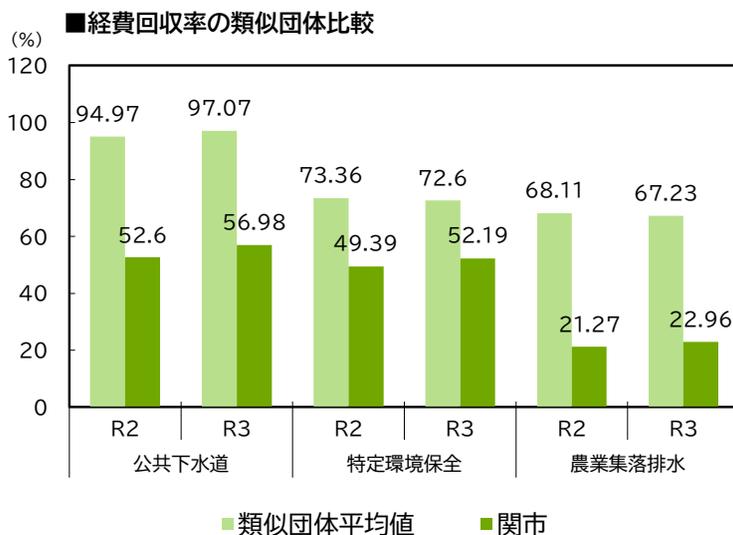
人口減少や老朽化施設の増大により、収入の減少と施設の修繕費用の増加など下水道事業の経営環境が厳しくなることが想定されます。下水道使用料の見直しや計画的な投資により効率的で安定した経営が求められています。

(2) 下水道事業のストックマネジメント

将来にわたって必要なサービスを安定的に提供できるよう、下水道事業全体における現状把握、分析、将来予測を行うなど、中長期的な視点での計画が必要です。

(3) 不明水対策

雨水や地下水が下水管内に入る不明水は、下水道施設に多くの負荷をかけ、処理コストが増大することから、対策が必要です。



後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
下水道の満足度(アンケート結果)	94.5% (2022)	UP
下水道の経費回収率(汚水処理費に対する使用料収入の割合)	73% (2021)	85%
下水道の更新計画策定進捗率(下水施設(29 処理場)のストマネ計画策定済みの施設数)	21 箇所 (2021)	29 箇所

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	安定した経営維持のため、収入の見直しや処理施設の統合等の検討を行います。		下水道使用料の見直し ○ 公共下水道とし尿処理場の統合 ○ 農業集落排水処理事業の見直し
	公共下水道・特定環境保全公共下水道施設更新計画を策定します。		公共下水道ストックマネジメント計画策定
	既存の管路、処理施設の適正な維持管理を行います。		緊急通報装置のデジタルシステム化 下水道管路地図データ作成・更新 ◇ 不明水対策事業

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



浄化センター

関連計画

○下水道広域化推進総合事業(し尿処理場統合)(2022~2028)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7